

# 耳掛け両側コード巻き取りヘッドホンの比較

RS500

2011年9月13日

## 1 概要

本論では、耳掛けヘッドホンの中でも携帯性に優れる両側コード巻き取り式のものについて、各社の競合製品を比較する。

普段はノートパソコンに挿して使い、使わないときはパソコンにプラグを挿したままコードを収納し、パソコンを携帯していくときはバッグに共に入れていくという状況を考える。

## 2 比較対象製品

本論で比較対象とするヘッドホンは、家電量販店で手に入れることのできる以下の製品である。

1. Victor HP-AL302-B
2. SONY MDR-Q68LW B
3. audio-technica ATH-EQ700 BK

## 3 比較

ここでは、「音質」「コード巻き取り」「イヤークラッド」「耳掛けフック」「重量」「プラグ収納」の6点について比較する。詳細な評価は悪い方から書いていく。

### 3.1 音質

良 1. > 2. > 3. 悪

音圧レベルが関係していると思われる。実際、それぞれの音圧レベルは 1:110 2:108 3:103 [dB/mW] なので、よりはっきりと聞こえるほうが音質が良いと判断しているのだろう。周波数特性はどれも似たようなものである。

### 3.2 コード巻き取り

良 2. > 3. > 1. 悪

別々に巻き取れる点はどれも同じであるが、巻き取り方が違う。

1. は、ネックコードはボタンによる巻き取りであるが、入力コードはプラグ収納と同時に巻き取る方式であ

る。携帯機器に挿したまま巻き取れるような突起もついているが、パソコンに挿して使うときは役立たずである。そのため、コードの調整が容易ではない。また、調節音がうるさい。

3. は、ネックコード・入力コード共にボタンによる巻き取りであるが、入力コードは 1. 同様にコードを収納しないと巻き取れない。また、調節音が安っぽい。

2. は、どちらもボタンによる巻き取りであり、調節音が安っぽくなく評判通り静かである。

### 3.3 イヤークラッド

良 1. > 3. > 2. 悪

2. は、今にも破れそうでほこりがつきやすそうな素材でできているので、慎重に取り扱わなければならない。

3. は、2. のように破れやすそうなわけでもなく、ほこりがつきやすそうなわけでもなく、無難である。

1. は、3. 同様しっかりした素材でできており、宣伝文句通り耳にフィットし音漏れが他 2 つに比べて少ない。

### 3.4 耳掛けフック

良 1. > 3. > 2. 悪

2. は、斜めに動くフックを採用しているが可も不可もない。問題は、開いた状態で固定されないことにある。柔らかい素材でできているのはプラスである。

3. は、フックが開いた状態で止まるものの固定が弱く、気を抜くと閉じてしまう。素材は硬いプラスチックであるが特に気になるものではない。

1. は、3. 同様フックが開いた状態でしっかり止まり、柔らかい素材でできている。

### 3.5 重量

軽 2. = 3. > 1. 重

1. は、とにかく重い。慣れた今では、平常時では気になるものではないが、寝転がるとさすがに気になる。

2. と 3. は、どちらもつけていることを忘れるほどに軽い。寝転がっても大丈夫。

### 3.6 プラグ収納

良 3. > 1. > 2. 悪

2. は、プラグをヘッドホン内部に収納できない。

1. は、プラグを内部に収納できる。

3. は、プラグを内部に収納できることに加え、L字プラグなのでノートパソコンに挿しやすく、収納時の場所も取らない。コードの断線は気になるところではあるが。

## 4 総評

複数の評価点の中でも、日常的に使うものであるため「音質」に2倍の重みを、携帯性は最重要であるために「コード巻き取り」に3倍の重みを、それぞれつけて点数化すると、以下のようになる。

$$1: 3*2 + 1*3 + 3 + 3 + 1 + 2 = 18$$

$$2: 2*2 + 3*3 + 1 + 1 + 3 + 1 = 19$$

$$3: 1*2 + 2*3 + 2 + 2 + 3 + 3 = 18$$

よって、2. の SONY MDR-Q68LW B が日常用途としては最も優れたものであると言える。